

1995年、当時世界銀行の副総裁であったイスマル・セラゲルディン氏は「20世紀の戦争が石油をめぐる争いとなれば、21世紀は水をめぐる争いの世紀になるだろう」と予測しました。

## 世界が求める水

右図の塗られた箇所は、中国資本によって買い占められた森林や水源地のある都道府県です。

世界の水ビジネス市場は年間で数十兆円規模といわれるほどの大きな市場であり、今後ますます拡大することが見込まれています。経産省の試算によると、世界の水市場規模は2007年の約37兆円から、2025年には約100兆円に成長すると予測されています。



## 日本の上下水道事業の現状

日本全国で耐用年数を超えた水道管は4万3000キロメートルにも及びます。普通は40年を目安に交換しなくてはなりません。水道管を管理している中小自治体は財政難で、メンテナンスが進まないのが現状です。

!!! 事業を手放す自治体の発生 !!!

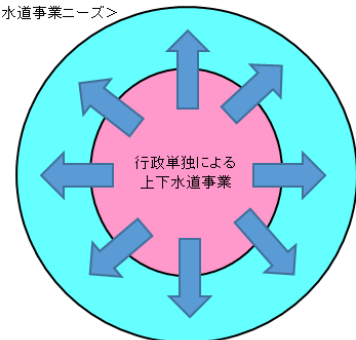
## チーム水商売の提言

地域に眠っている地域資源を再発見し互いの強みを活かしたコミュニティビジネスを構築すれば資金的・人的資源に乏しくとも成功するチャンスは充分にあると思います。どの自治体も有する行政ノウハウを民間に開放すれば地方発の企業を育成することができます。今こそ「ないものねだり」ではなく「あるもの探し」に徹するべきではないでしょうか。

熊本県は「蛇口をひねればミネラルウォーター」と言われるほど水資源に恵まれた土地柄です。この「蛇口をひねればミネラルウォーター」を世界中に広げることが我々の現役世代が行うべき使命であると考えます。

我々チーム水商売は、行政ノウハウを活用した地方創生戦略で若い世代に輝かしい未来を残していかなくてはならないと強く思っています。

<上下水道事業ニーズ>



<上下水道事業ニーズ>

